

平成 30 年度第 1 回プラネタリウム館運営協議会会議録（概要）

1. 開催日時 平成 30 年 7 月 4 日（水）午後 3 時 30 分から 4 時 30 分まで
2. 開催場所 文化センター2 階応接室
3. 出席者 委員 森委員長、仲田委員、多賀委員、野崎委員、赤瀬委員
事務局 井上教育長（挨拶のみ）、川上文化センター長、長谷川副主幹、岸下主査補
4. 傍聴者 なし
5. 議題 ①平成 29 年度事業実施報告（公 開）
②平成 30 年度事業計画について（公 開）
③その他（公 開）
6. 配布資料 資料① 平成 29 年度事業報告
資料② 平成 30 年 6 月プラネタリウム館来館者集計
クラウドファンディング リターン（案）

7. 会議での確認・承認事項

①平成 29 年度事業及び平成 30 年度事業の経過確認

8. 議 事 以下のとおり

	教育長及び課長挨拶の後、事務局より、平成 29 年度事業実施報告を行う
事務局	平成 29 年度も事業計画に沿って、すべての事業を行うことができた。歳入は、一般投映来館者の増により、過去 24 年間で最も多かった。
●●委員	平成 24 年度と 29 年度を比べると、来観者数は 500 人程の増だが、歳入は 40 万円近くアップしているのはなぜか。
事務局	平成 26 年度に消費税率の改定による料金改定があり、更に 5 年の間にひよこプラネタリウムや大人天文、あなただけのプラネタリウム等の料金見直しを行ってきたことによる。また 29 年度は、市外の一般投映来館者数が多かったことも大きい。
●●委員	様々な取材を受けているが、効果はあったか。
事務局	ラジオやテレビの反響はよくわからないが、地域新聞にイベントが載った時は効果が大きい。また、今年度になるが、4 月 1 日に朝日新聞に取り上げられた時は、記事を見たとき多くの人に声をかけられた。

●●委員	取材は突然だったのか。
事務局	昨年、●●委員の紹介で、朝日新聞から「親子で宇宙を目指す家族を記事にしたいが、だれか良い人はいないか」という問い合わせがはいった。紹介はできなかったが、記者が話をきいているうちに白井のプラネタリウムに興味を持ち、記事にしてくれた。大きな事件がない時の掲載ということで、4月1日になったが、取材自体は1月から何回か行っている。
●●委員	平成29年度事業について、他に質問、意見はないか。 では、平成30年度事業について説明をお願いします。
事務局	現在、事業計画に沿って、順調に事業を進めている。ライブコンサートは「フラダンス」と「渡辺かづき ジャズピアノ」が終了したが、大変好評であった。これから、火星大接近に向けて多くの投映や講座、講演会、観望会を行っていく。また、4月から大人一般投映料金が値上がったが、その影響はまだわからない。
●●委員	火星は今砂嵐で、模様がよく見られないが大丈夫か。
事務局	火星は明るく大きくなってきている。とりあえず、ありのままを見てもらう。前は無料で観望会のみ行ったが、今回は有料にして、ドームでの解説も行う。とにかく晴れてくれることを望む。
●●委員	東大和では、火星より「はやぶさ2」が「りゅうぐう」に到着したことの方が話題になっているが。
事務局	白井は生解説なので、火星の前に、はやぶさ2についても話している。はやぶさ2にも頑張ってもらいたい。
●●委員	火星観望会で新しい望遠鏡のアイピースや貸し出し用の望遠鏡は使うか。
事務局	貸し出し用望遠鏡は使わない。過去の経験上、人の流れを作るのが重要。望遠鏡の台数はあまり関係ない。しかし、望遠鏡の天体をパソコンに映してくれるアイピース（約8000円）は購入したので使う予定。
●●委員	天文同好会で観望会を全面的にバックアップするので、要望など言ってほしい。

事務局	よろしく願います。
●●委員	平成 30 年度事業計画について他に意見、質問はないか。 では、その他の案件について、説明を願う。
事務局	クラウドファンディングの進捗状況について説明を行う。 前回の会議でも話したが、写真撮影システム付き望遠鏡の購入をクラウドファンディングで挑戦する。現在は、プラットフォームをレディーフォーに決定し、数日中に契約を取り交わすところである。 寄付者への返礼品として、前回の会議では案として、一般投映や観望会の無料招待券を考えていたが、税の優遇措置を行う、寄付型クラウドファンディングでは、換金性のある返礼品はできないとの指摘を受け、お礼のカードを中心とする別添の案に練り直した。 準備段階で大切なことは、募集期間前までに、寄付可能な者を確定し、スタートと同時に入金をしてもらうこと。それにより注目度がアップするというので、現在スタート前に配布するチラシを急いで作っている。
●●委員	他でも、クラウドファンディングの話聞いたが、重要なのはキャッチコピーらしい。
事務局	「夜空の星をあなたの手もとに」というキャッチコピーを考えた。
●●委員	スタートダッシュが大事だということだが、期間が長ければ状況を見ながら戦略を練ることもできるのではないか。
事務局	あまり長いと間延びするとの指摘を受け、一応夏休みを含む 7 月中旬から 8 月末までを考えている。 寄付方法は振り込みがメインだが、窓口募金も行う。窓口募金は、返礼や税の優遇措置は受けられないが、パソコンの登録や振り込み作業が面倒だという方、少額だけど協力したいという方にお願う。あと少し金額が足りないという時の追い上げに有効であるとする。
●●委員	自分たちがロケットの碑を建てた時 330 万円を寄付金で集めたが、全部自分たちでやったので手数料は払う必要がなかった。今回、成功した場合、業者に手数料として寄付金の約 20%、今回は 50 万円のうち約 10 万円を支払うが、高額ではないか。
事務局	50 万円中 10 万円は高いかもしれない。しかし、今回プラットフォームとし

<p>●●委員</p>	<p>て、レディーフォーを選んだのは、成功率が高く、アシストがついてくれることが大きい。仙台市天文台が、「星空とともに」の作成費をクラウドファンディングで集めたがやはり、レディーフォーをプラットフォームに選んでいた。</p>
<p>事務局</p>	<p>期間内にお金が集まらなかった場合はどうなるのか。</p> <p>手数料も取られず、お金も返金となる。寄付した時点では、つけ払いのような感じで、50万円達成した場合に集金されるシステム。返金作業やデータの取りまとめは業者が行うので、こちらは人手がない分助かる。白井で初のクラウドファンディングなのでいろいろ勉強しながら作業をしている。</p> <p>実は、白井では、プラネタリウムの他に、魅力発信課と農政課が同時にクラウドファンディングを進めている。同時に募集をスタートする案もあったが、人の来館が多い夏休み期間に募集をかけたかったので、プラネタリウムが一步先行している。</p>
<p>●●委員</p>	<p>3つ同時に募金を募ると、どれに募金しようか迷ってしまうかもしれない。平塚市も同じようなことで募集していたが、伝え聞いたところ90何人であったという間に100万円達成したらしい。やはりキャッチコピーが大事らしい。</p>
<p>事務局</p>	<p>プラネタリウムの望遠鏡も24年間使い続けてきた。ここで新しい望遠鏡を導入したい。皆様にもご協力をお願いします。</p>
<p>●●委員</p>	<p>他に意見はあるか。</p> <p>では、クラウドファンディングが成功することを願い、これで平成30年度第1回プラネタリウム運営協議会を終了とする。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>